

平成29年度 教育重点施策について

教育重点施策 1 学びづくりフロンティアプロジェクト（学プロジェクト）

（1）3年間を通して見えてきたこと

- ボトムアップによる課題の明確化⇒チーム学校の形成・予算措置
- データの活用
- 指標の見直し（意欲・習慣と学力の相関関係）

（2）29年度のプロジェクトの方向性

- 学級，個人レベルにおとした支援策の推進

(1) 3年間を通して見えてきたこと

- ボトムアップによる課題の明確化⇒チーム学校の形成
課題に対応した予算措置
- データの活用
- 指標の見直し(意欲・習慣と学力の相関関係)

ボトムアップによる課題の明確化 課題に対応した予算措置

校長ヒヤリングによる、課題及び解決策の明確化

全職員で 課題及び目指す子供の姿を共有
(ボトムアップ) ⇒ チーム学校

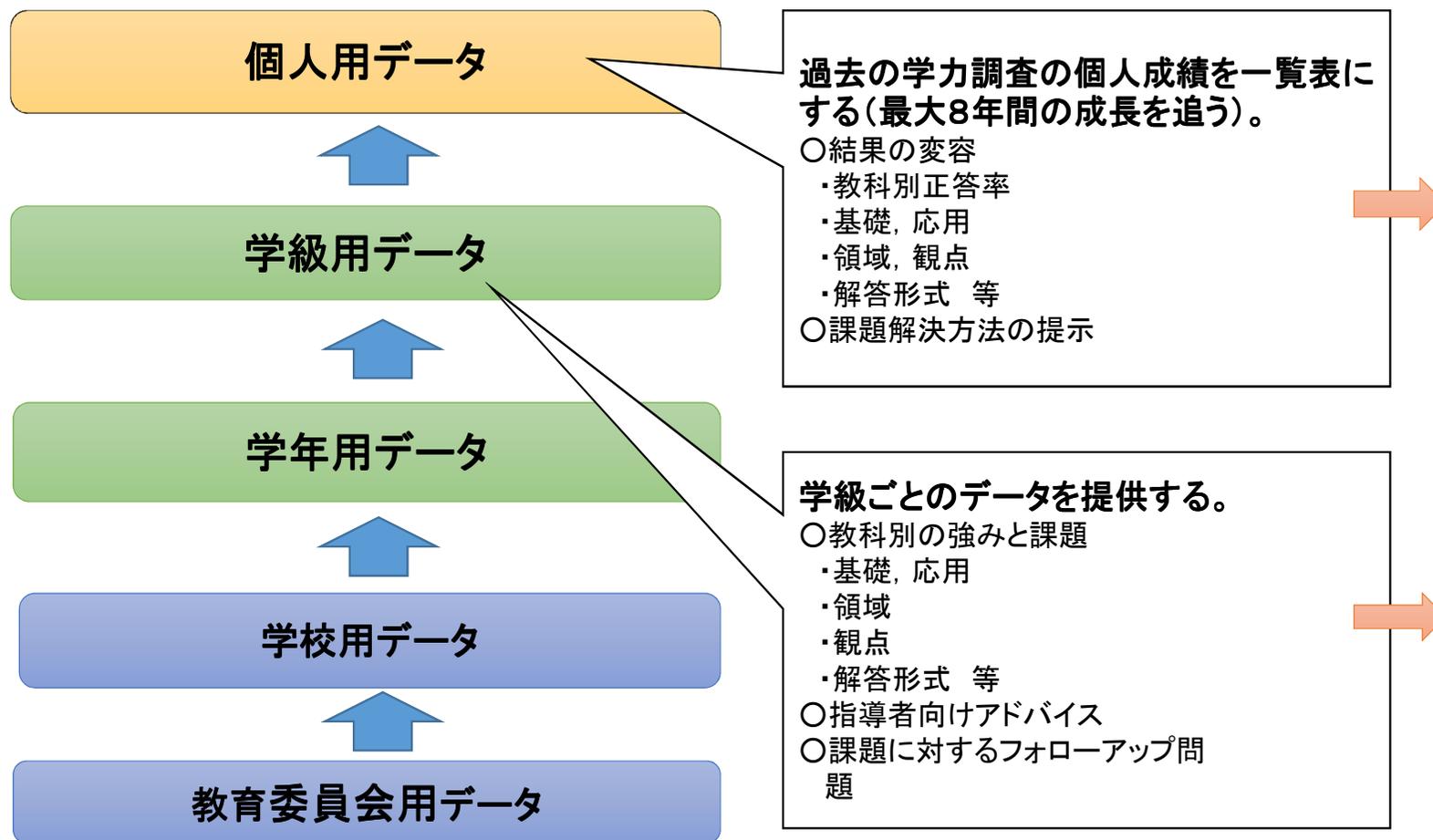
各学校の課題解決策に即した教育委員会支援の決定
(予算措置)

目指す子供の姿の実現に向けた仮説に基づく具体的な取組

効果検証

次年度へ

学級・個人レベルにおとした 「柏市学力学習状況調査」分析データの活用



○学級・個人レベルにおとした支援策の推進

指標の見直し

4つのC (カ)	見出し	評価指標
コンセプト (見通すカ)	1 夢・目標	将来の夢や目標をもっていますか。
	2 計画	物事に取り組む時、計画を立てて取り組んでいますか。
	3 計画の見直し	物事が計画的に進まない時、計画の見直しをしていますか。
	4 地域社会への関心	地域・社会で起こっているできごとやニュースに関心がありますか。
	5 地域社会への貢献	学校で学んだことを、地域や社会のために役立てたいと思いますか。
	6 学習のめあて	めあてや学習課題を意識して授業に参加していますか。
	7 予想	課題に対して予想を立てて勉強していますか。
	8 本・ICT活用	課題を解決するために、本やコンピュータなどを活用していますか。
	9 学習方法(関わり)	わからないことがあった時、人に聞いたり自分で調べたりしていますか。
	10 学習の振り返り	物事に取り組んだ時、まとめや振り返りをしていますか。
チャレンジ (挑戦するカ)	11 学習の目標	物事に取り組む時、目標を立てて取り組んでいますか。
	12 発見する喜び	学習して、新しいことを知ったり、身につけたりすることはうれいですか。
	13 困難さへの挑戦	難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。
	14 粘り強さ	困難に直面しても、あきらめずにいろいろな方法を考えていますか。
	15 承認経験	友だちから認められてうれしかったことはありますか。
	16 夢・目標への努力	夢や目標に近づくために努力していますか。
	17 ノートの工夫	ノートの取り方について、自分なりの工夫をしていますか。
	18 間違いの見直し	テストでまちがえた問題は、後でやり直していますか。
	19 学びの活用	学校で学んだことを、普段の生活に生かそうと考えていますか。
	20 読書習慣	進んで本を読んでいますか。
コミュニケーション (関わり合うカ)	21 地域行事への参加	地域の行事やボランティア活動に参加しようと思いますか。
	22 思いやり(意欲)	人の気持ちかわかる人間になりたいと思いますか。
	23 傾聴(意欲)	話し合いをする時、相手の考えをしっかりと聞きたいと思いますか。
	24 あいさつ	自分から先にあいさつすることをこころがけていますか。
	25 積極的な発言	話し合いをする時、自分の意見を積極的に発言しようと思いますか。
	26 家庭での会話	家の人と学校のできごとについて話をしていますか。
	27 傾聴(習慣)	先生や友だちの話をよく聞いていますか。
	28 思いやり(習慣)	普段の生活の中で、相手の立場を考えて行動していますか。
	29 仲間づくり	友達になりたいと思った時、自分から声をかけていますか。
	30 意思表示	先生や友だちに伝えたいことをうまく伝えることはできますか。
コントロール (自律するカ・生活力)	31 貢献意欲	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
	32 自己肯定感	自分に良いところがあると思いますか。
	33 授業への集中	集中して授業に取り組んでいますか。
	34 がんばっていること	学校生活で打ち込めるもの、がんばっていることはありますか。
	35 運動への意欲	体を動かすこと(運動・スポーツ、外遊びなど)は好きですか。
	36 規範意識	学校の規則やクラスで決めたことを守っていますか。
	37 家庭学習	宿題や課題をきちんとやっていますか。
	38 素直さ	自分が悪かったと思う時は、素直に謝っていますか。
	39 運動習慣	体育の授業以外に、積極的に体を動かしていますか。
	40 規則正しい生活	毎日同じくらいの時刻に寝て、朝は自分で起きていますか。

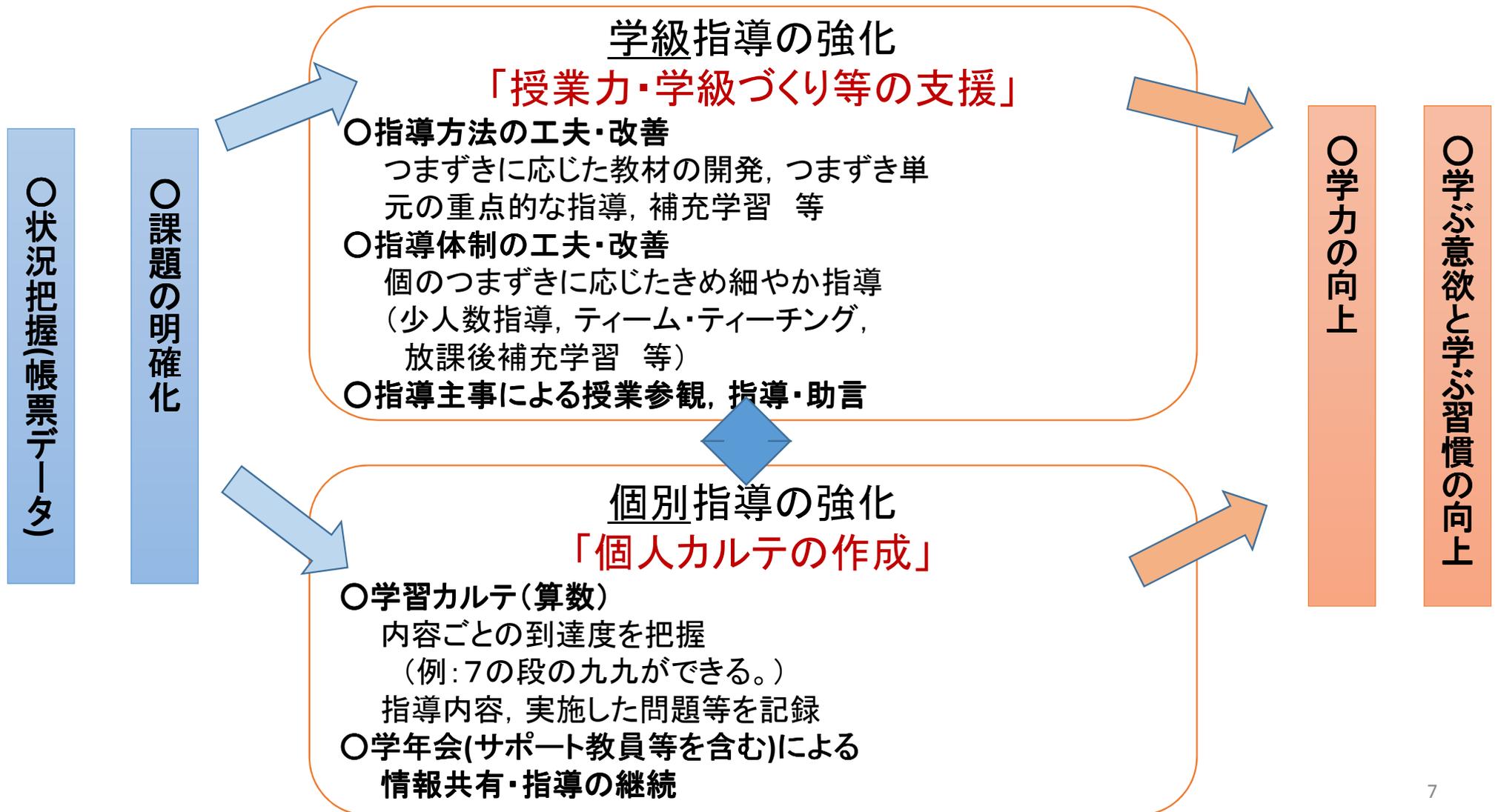


- ・ 指標の精選
- ・ 学力との相関関係

(2) 29年度のプロジェクトの方向性

○ 学級・個人レベルにおとした支援策の推進

学級・個人レベルにおとした支援策の推進



教育重点施策 2 人材育成

- (1) 年齢構成の二極化と若年化の状況
- (2) 年齢構成の二極化と若年化の状況による課題
- (3) 課題解決の視点
- (4) 課題解決の方向性
- (5) 課題解決に向けた手立てと効果

(1) 年齢構成の二極化と若年化の状況

平成28年度 教職員年齢別構成の現状(グラフ1参照)

60代=161名 50代=532名 40代=165名 30代=475名 20代=475名

平成28年度末 60名退職 内管理職退職 11名

平成29年度末 60名退職 内管理職退職 13名

平成30年度末 79名退職 内管理職退職 25名<今後10年最大>

平成31年度末

平成31年度 教職員年齢構成の予想(グラフ2参照)

60代=276名 50代=390名 40代=181名 30代=607名 20代=461名

(2) 年齢構成の二極化と若年化の状況による課題

起こりうる状況	予想される現象
40代から50代半ばの教員（経験20年～30年）が激減	授業・生徒指導力の低下 ↓ 学校が抱える課題の増大 多様化 複雑化
30代後半から40代前半での管理職への登用	十分な経験を経ない管理職によるマネジメント能力の低下

(3) 課題解決の視点

児童生徒に対する指導力低下の前にOJTを通じた実践力育成
組織マネジメントの感覚を身に着けたミドルリーダー層の育成

(4) 課題解決の方向性

- ① OJTを機能させた学校現場における材育成体制による優秀な教員の育成
- ② 教職大学院派遣研修を生かした次世代スクールリーダーの計画的な育成

(5) 課題解決に向けた手立てと効果

① OJTを機能させた学校現場における材育成体制による優秀な教員の育成

優秀な管理職退職者の登用により、管理職から若手まで幅広いOJTによる人材育成

- ・生徒指導アドバイザーによる学級支援により「学級が機能しない状況」の減少
- ・学校図書館コーディネータの授業相談による「学校図書館活用授業」の増加
- ・管理職研修担当アドバイザーによる、学校巡回支援により、学校課題の早期発見早期解決

② 教職大学院派遣研修を生かした次世代スクールリーダーの計画的な育成

派遣大学	派遣枠	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
千葉大学	県推薦枠	0	1名教員	1名教員	1名教員	1名教員
	柏市推薦枠	0	1名指導主事	1名指導主事	1名指導主事	1名指導主事
聖徳大学	県推薦枠	0	1名教員	1名教員	1名教員	1名教員
	柏市枠夜間	0	1名指導主事		1名指導主事	

千葉大学の任命権者推薦入試枠により、毎年1名の指導主事を派遣し研修を行う。

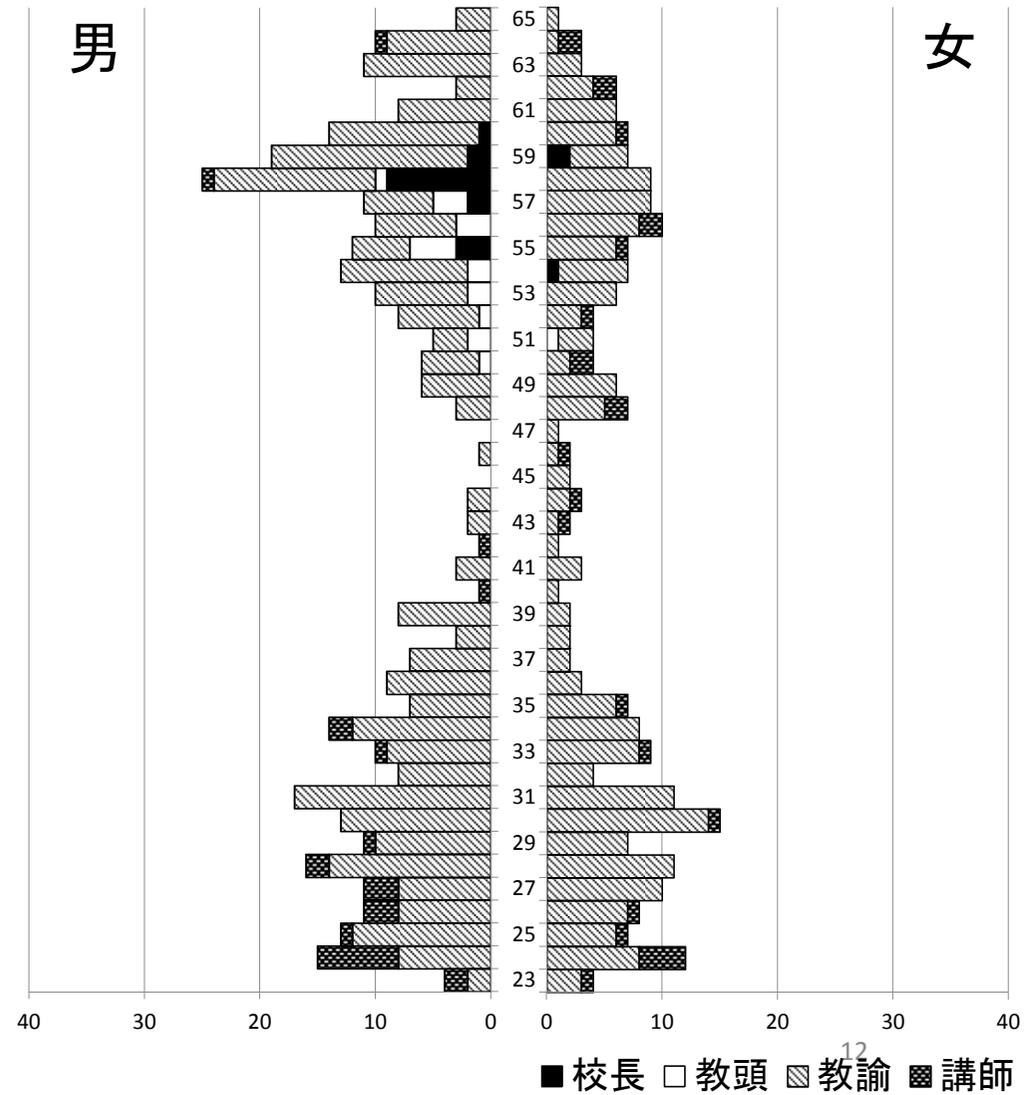
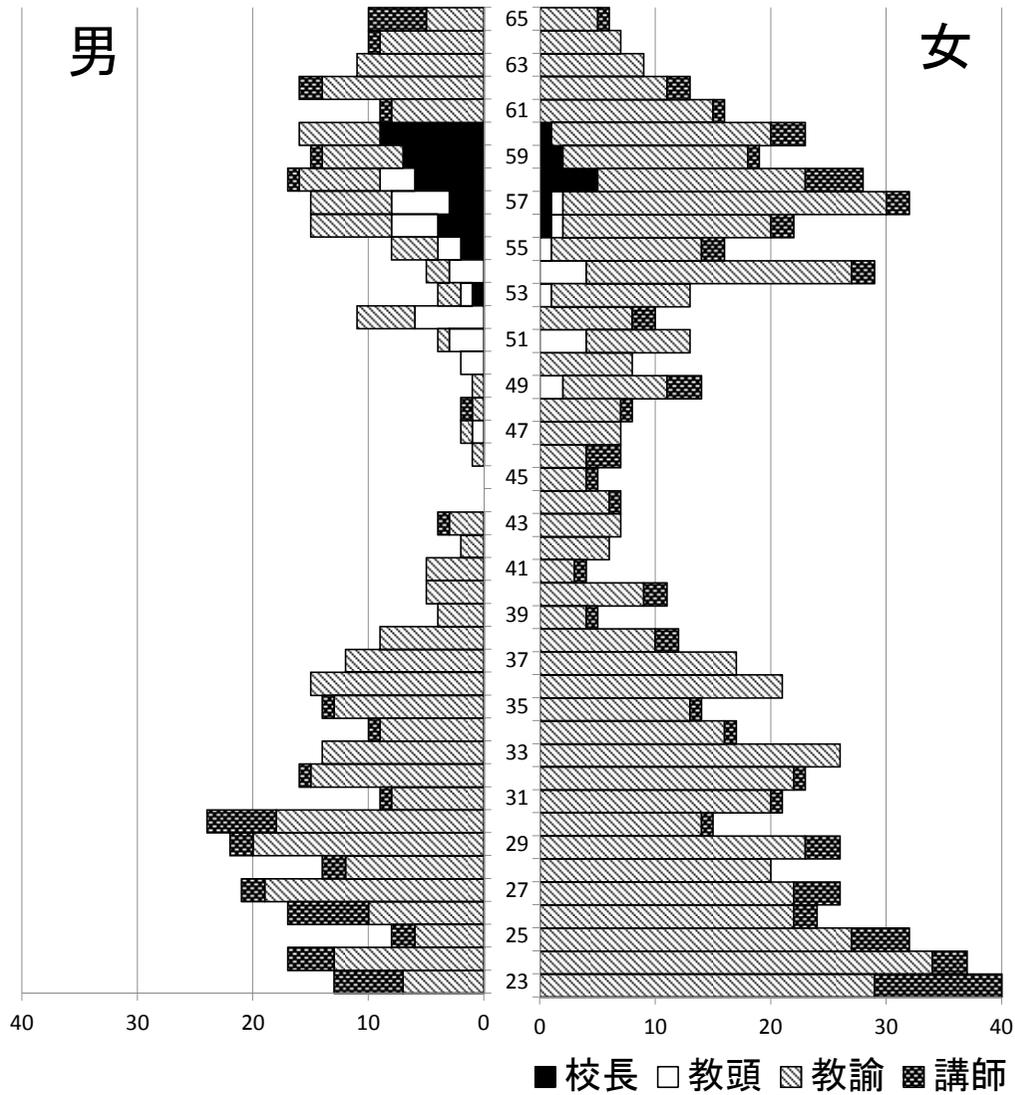
そのための、指導課の定数1を平成31年度までの期限付きで確保。

小学校

グラフ 1

中学校

H28年度男女別・職層別教職員年齢構成



小学校

グラフ 2

中学校

H31年度男女別・職層別教職員年齢構成予測

男

女

男

女

